

9 月 21 日 年間第 25 主日

気前が良すぎるか

マタイによる福音書 20 章 1～16 節

¹「天の国は次のようにたとえられる。ある家の主人が、ぶどう園で働く労働者を雇うために、夜明けに出かけて行った。²主人は、一日につき一デナリオンの約束で、労働者をぶどう園に送った。³また、九時ごろ行ってみると、何もしないで広場に立っている人々がいたので、⁴『あなたたちもぶどう園に行きなさい。ふさわしい賃金を払ってやろう』と言った。⁵それで、その人たちは出かけて行った。主人は、十二時ごろと三時ごろにまた出て行き、同じようにした。⁶五時ごろにも行ってみると、ほかの人々が立っていたので、『なぜ、何もしないで一日中ここに立っているのか』と尋ねると、⁷彼らは、『だれも雇ってくれないのです』と言った。主人は彼らに、『あなたたちもぶどう園に行きなさい』と言った。⁸夕方になって、ぶどう園の主人は監督に、『労働者たちを呼んで、最後に来た者から始めて、最初に来た者まで順に賃金を払ってやりなさい』と言った。⁹そこで、五時ごろに雇われた人たちが来て、一デナリオンずつ受け取った。¹⁰最初に雇われた人たちが来て、もっと多くもらえるだろうと思っていた。しかし、彼らも一デナリオンずつであった。¹¹それで、受け取ると、主人に不平を言った。¹²『最後に来たこの連中は、一時間しか働きませんでした。まる一日、暑い中を辛抱して働いたわたしたちと、この連中とを同じ扱いにすることは。』¹³主人はその一人に答えた。『友よ、あなたに不当なことはしていない。あなたはわたしと一デナリオンの約束をしたのではないか。¹⁴自分の分を受け取って帰りなさい。わたしはこの最後の者にも、あなたと同じように支払ってやりたいのだ。¹⁵自分のものを自分のしたいようにしては、いけないか。それとも、わたしの気前のよさをねたむのか。』¹⁶このように、後にいる者が先になり、先にいる者が後になる。」

他の朗読：イザヤ 55:6～9 詩編 145:2, 3, 8, 9, 17, 18 フィリピ 1:20～24, 27

Lectio … 読む

イエスは、このたとえ話を、神とその新しい御国について教えるために私たちに告げています。それは社会正義を述べることを目的にしているわけではありません。

他のたとえ話と同じように、主人が神を、ぶどう園が御国を表しています。一日の異なる時間に、主人は人々を自分のぶどう園に来て働くように雇います。最後に雇われた人々は他の誰も雇いながらいない人々だったのです。12 時間辛抱して働いた人々は、最終的に 1 時間しか働かなかった人々と全く同じ賃金しか貰えませんでした。

「賃金」あるいは報酬は神の契約、即ち神と共にある永遠の命です。それは御国に仕えた報酬ではなく、神からの賜物です。神は、ある人には多く、他の人はより少なくというように神の愛と恵みを与えることはしません。神はご自分が選ばれた人に惜しみなく恵みを与えるのです。

真実は、一日中神に仕える特別な恵みをいただいた人々を含めて、誰もが自分が値するよりももっと多くをいただいている、ということなのです。

Meditatio … 黙想する

このたとえ話は、神に仕えることについて、プライドについて、そして仲間のキリスト者への私たちの態度について何か教えてくれているのでしょうか。私たちは他者に嫉妬することがあるのでしょうか。主人は誰も望まないような労働者たちを雇いました。このことから私たちは何を学ぶことができますか。

このたとえ話は、神の本質について私たちに何を教えてくれていますか。

Oratio … 祈る

主人は 1 日の間に何度も新しい労働者たちを探し出しました。刈り入れの時間が差し迫っていたからです。イエスは弟子たちに、刈り入れのために、より多くの労働者を送ってくれるように神に願うように急かせています。教会が使命を果たすために十分な司祭や信徒を得るように祈りましょう。福音を分かち合い、弟子たちを養うために、あなたはどのような役割を担うことができるか神に尋ねてみましょう。

Contemplatio… 観想する

イザヤ 55 章 8、9 節からの次の御言葉をよく考えてみましょう。

「わたしの思いは、あなたたちの思いと異なり

わたしの道はあなたたちの道と異なると

主は言われる。

天が地を高く超えているように

わたしの道は、あなたたちの道を

わたしの思いは

あなたたちの思いを、高く超えている。」